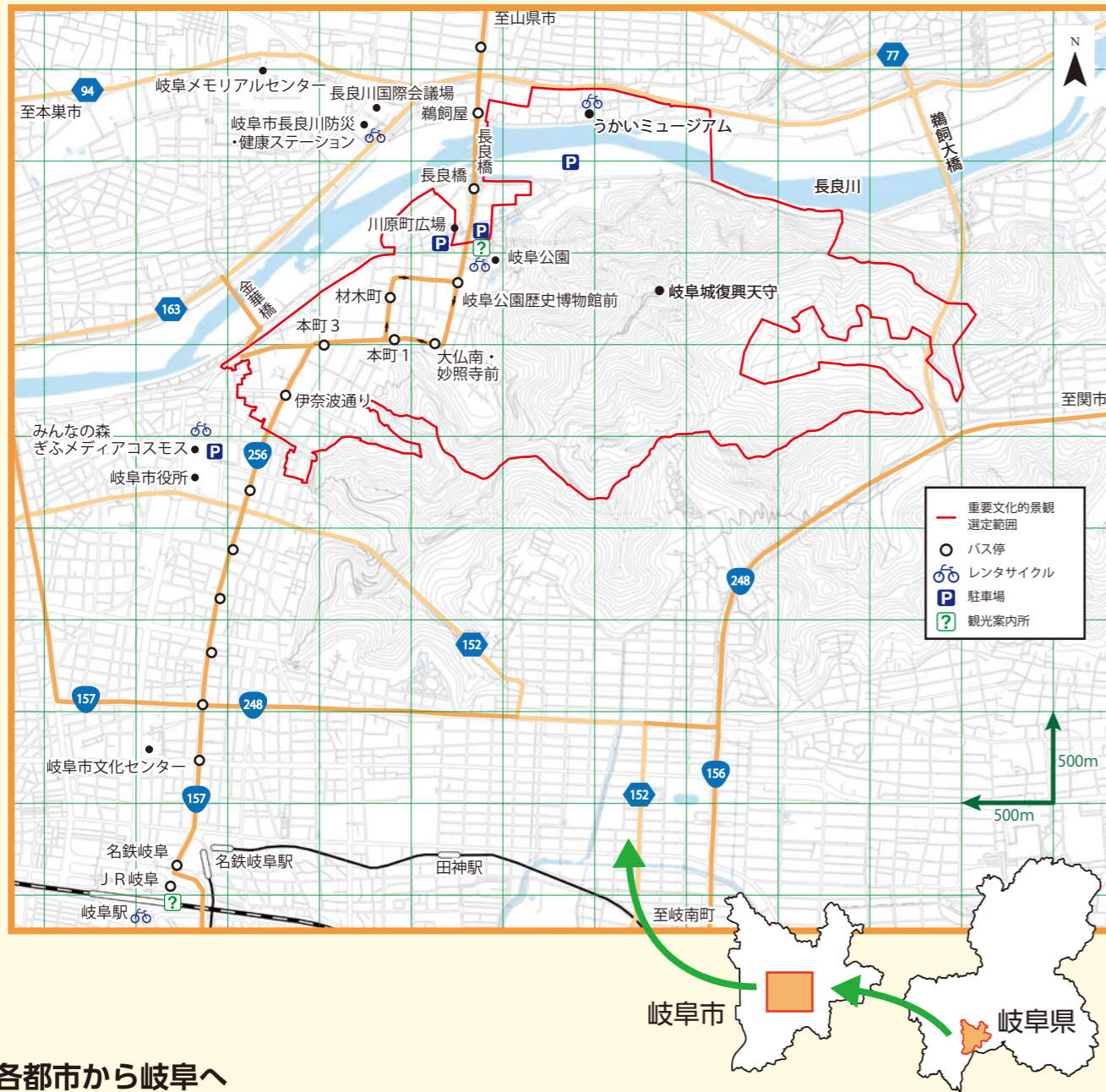
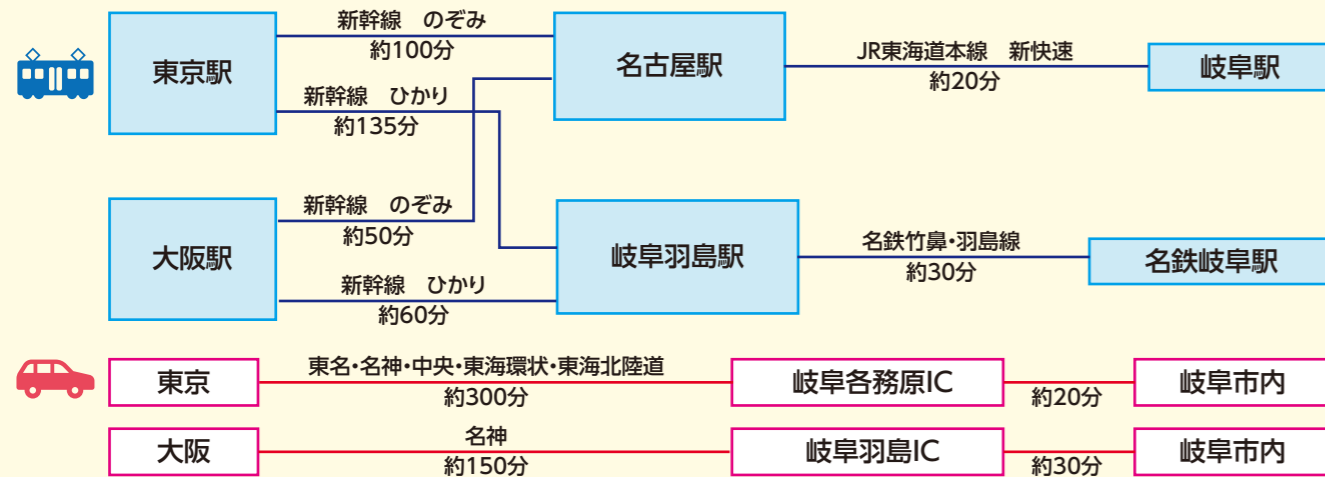


●交通アクセス図



●各都市から岐阜へ



岐阜・風景のしおり -長良川とともに暮らすまち-

令和3年3月発行
岐阜市 <https://www.city.gifu.lg.jp>

【問い合わせ先】
岐阜市 ぎふ魅力づくり推進部 文化財保護課
tel:058-214-7157
mail:bunkazai@city.gifu.gifu.jp

本資料は、『重要文化的景観「長良川中流域における岐阜の文化的景観」整備計画』策定事業に伴い、作成したものです。



岐阜・風景のしおり

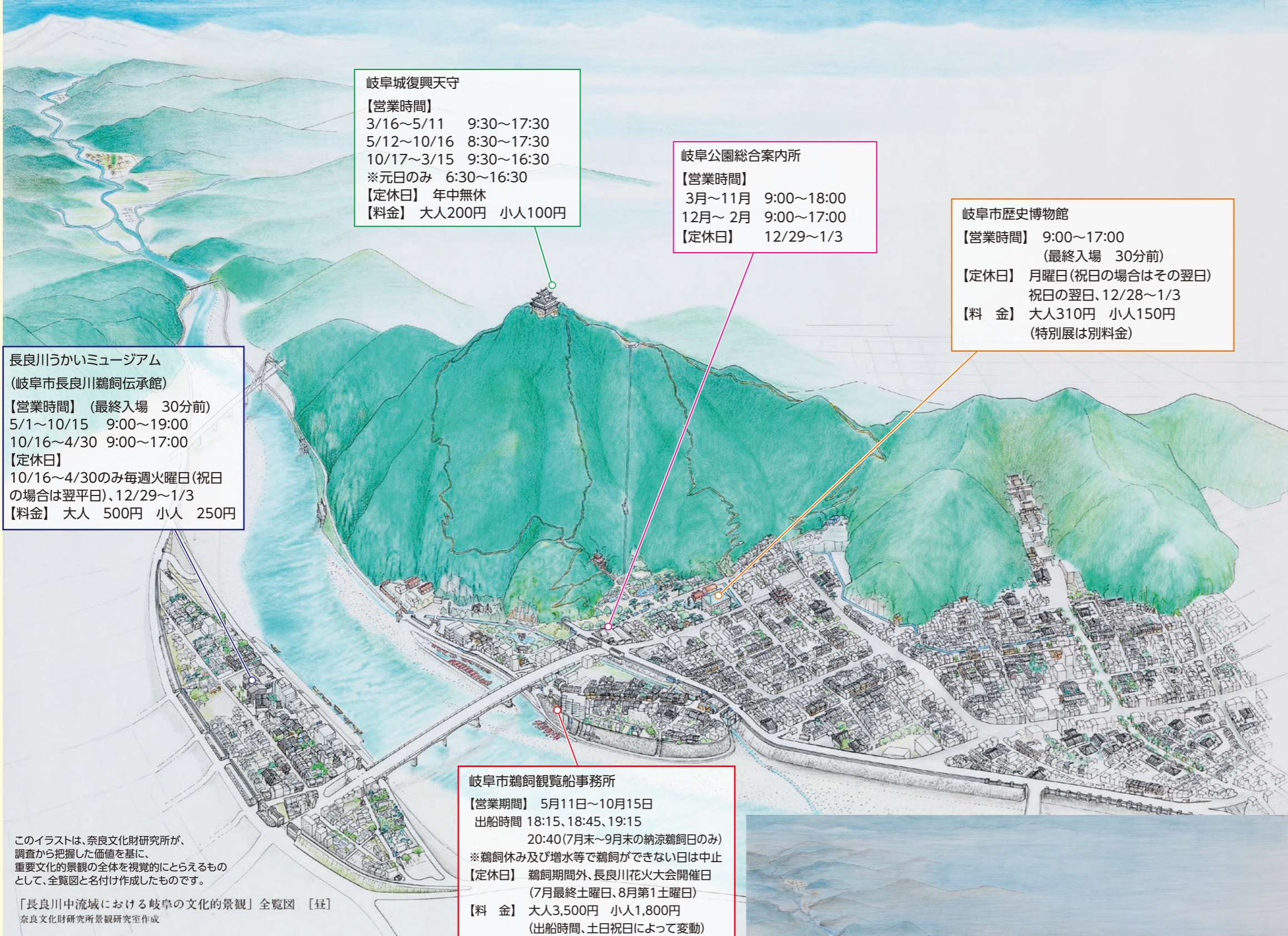
-長良川とともに暮らすまち-

重要文化的景観
長良川中流域における
岐阜の文化的景観

長良川が育んだ岐阜の文化
美濃山地を抜け金華山麓に到達した長良川は、扇状地を形成しながら濃尾平野へと悠々と流れます。岐阜市はこの金華山と長良川に寄り添いながら歴史と文化を紡いできました。岐阜市のランドマークの一つである金華山は、斎藤道三、織田信長が居城とし、彼らはその西麓に城下町を整備しました。その城域と城下町は、近世、近代以降の都市形成、景観形成に大きな影響を与えました。また、長良川は、千三百年以上の歴史を誇る鵜飼の舞台であり、かつては物流の中心として和紙、竹、材木を運び、提灯・団扇・傘などの和紙文化を支えました。現代の私たちが日常的に目にしている岐阜の風景は、風土に根差した人々の生活の中で積み重ねられてきたものです。この「岐阜・風景のしおり」は、長良川とともに暮らすまち「は、山と川と扇状地をたくみに利用することで育まれてきた文化的景観の歴史です。季節ごとの仕事や行事、食など岐阜ならではの「地域の宝」を十二ヶ月に織り込みました。中にはまちづくり会による比較的新しい行事もある一方、時代とともに薄れゆく季節ごとの食や慣習などもあります。しかしながら、伝統文化の上に新しい文化を重ねていくことも文化的景観の特徴のひとつであり、それが新しい地域の宝となる可能性もあります。古今の要素と折り合いをつけながら将来に渡って「岐阜市の原風景」を守り伝えましょう。

地域の主な歴史

奈良〜安土桃山時代	▶702(大宝2)	美濃国各務郡中里の戸籍に鵜飼部目都良売あり
	▶737(天平9)	美濃国から紙を貢納
	▶927(延喜5)	美濃国、鮎鮎、塩漬け、火干しの鮎などを貢納(「延喜式」)
	▶1473(文明5)	一条兼良、美濃国江口(長良川)で鵜飼を見る
	▶1490年代	美濃国瑞龍寺が宮中に团扇を献上する
江戸時代	▶1535(天文4)	長良川が氾濫し、現在の長良川の流路ができる
	▶1539年頃(天文年間)	伊奈波神社が現在地に移転
	▶1567(永禄10)	織田信長が稲葉山城を攻め、井口を岐阜に改名
	▶1568(永禄11)	織田信長、武田信玄の使者に鵜飼を見せる
	▶1600(慶長5)	関ヶ原合戦の前哨戦で岐阜城落城
	▶慶長年間	伊奈波神社の祭礼で岐阜町全体で24輛の山車が曳かれていた
	▶1615(慶長20/元和元)	徳川家康、秀忠、鵜飼を見る
	▶1636(寛永13)	河崎喜右衛門鮎鮎御用。献上鮎鮎開始
	▶1686(貞享3)	長良川役所が早田村馬場から中河原へ移転
	▶1688(貞享5)	岐阜大火(岐阜町・今泉村・古屋敷・明屋敷など1,921軒焼失)
明治〜大正時代	▶1695(元禄8)	松尾芭蕉、岐阜妙照寺に到来、鵜飼を見物
	▶1695(元禄8)	尾張藩が岐阜奉行所設置
	▶1832(天保3)	正法寺の岐阜大仏完成
	▶1862(文久2)	献上鮎鮎廃止
	▶1868(明治元)	有栖川宮進献御用
	▶1874(明治7)	長良川に船橋(現長良橋)ができる
	▶1888(明治21)	岐阜公園開園式
	▶1889(明治22)	岐阜市制を施行
	▶1890(明治23)	長良村古津に御猟場設置
	▶1891(明治24)	濃尾地震(被害家屋19,701戸)
昭和時代	▶1898(明治31)	長良川遊船会社設立
	▶1899(明治32)	鵜飼、宮内省主猟寮所属
	▶1910(明治43)	岐阜城復興天守完成(昭和18年に焼失)
	▶1917(大正6)	岐阜公園に三重塔完成
	▶1927(昭和2)	鵜飼観覧事業が市営になる
	▶1930(昭和5)	岐阜市で伏流水をくみ上げ、水道水とする
	▶1939(昭和14)	長良川の締め切り工事竣工
	▶1945(昭和20)	岐阜大空襲(焼失戸数20,427戸)
	▶1953(昭和28)	信長まつりを初めて挙行
	▶1956(昭和31)	岐阜城復興天守再建
平成時代	▶1959(昭和34)	伊勢湾台風による水害
	▶1964(昭和39)	金華橋ができる
	▶1973(昭和48)	第一回道三まつりを、岐阜まつりに協賛して開催
	▶1976(昭和51)	台風17号による水害(9.12水害)
	▶1985(昭和60)	長良川中流域が「名水百選」に選定
	▶1996(平成8)	長良川鵜飼が「残したい日本の音風景100選」に選定
	▶1997(平成9)	岐阜城復興天守の修理(市民による瓦運び)
	▶2011(平成23)	「岐阜城跡」が国の史跡に指定
	▶2012(平成24)	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鵜飼伝承館)開館
	▶2014(平成26)	「長良川中流域における岐阜の文化的景観」が国の重要文化的景観に選定
▶2015(平成27)	「長良川の鵜飼漁の技術」が国の重要無形民俗文化財に指定	
▶2016(平成28)	「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」が日本遺産に認定	
▶2016(平成28)	「岐阜提灯の製作用具と製品」(岐阜市所有)が国登録有形民俗文化財に登録	
▶2019(平成31)	「伊奈波神社祭礼に伴う岐阜まつり行事」が市無形民俗文化財に指定	



岐阜城復興天守
 【営業時間】
 3/16~5/11 9:30~17:30
 5/12~10/16 8:30~17:30
 10/17~3/15 9:30~16:30
 ※元日のみ 6:30~16:30
 【定休日】 年中無休
 【料金】 大人200円 小人100円

岐阜公園総合案内所
 【営業時間】
 3月~11月 9:00~18:00
 12月~2月 9:00~17:00
 【定休日】 12/29~1/3

岐阜市歴史博物館
 【営業時間】 9:00~17:00
 (最終入場 30分前)
 【定休日】 月曜日(祝日の場合はその翌日)
 祝日の翌日、12/28~1/3
 【料 金】 大人310円 小人150円
 (特別展は別料金)

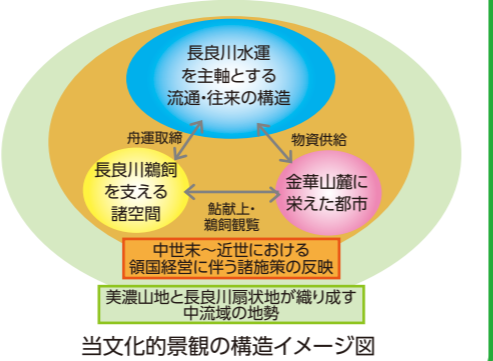
長良川うかいミュージアム
 (岐阜市長良川鵜飼伝承館)
 【営業時間】(最終入場 30分前)
 5/1~10/15 9:00~19:00
 10/16~4/30 9:00~17:00
 【定休日】
 10/16~4/30のみ毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)、12/29~1/3
 【料金】 大人 500円 小人 250円

岐阜市鵜飼観覧船事務所
 【営業期間】 5月11日~10月15日
 出船時間 18:15、18:45、19:15
 20:40(7月末~9月末の納涼鵜飼日のみ)
 ※鵜飼休み及び増水等で鵜飼ができない日は中止
 【定休日】 鵜飼期間外、長良川花火大会開催日
 (7月最終土曜日、8月第1土曜日)
 【料 金】 大人3,500円 小人1,800円
 (出船時間、土日祝日によって変動)

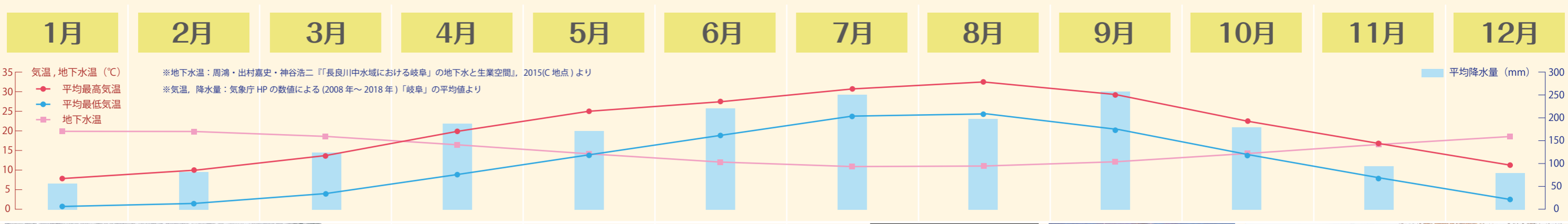
このイラストは、奈良文化財研究所が、調査から把握した価値を基に、重要文化的景観の全体を視覚的にとらえるものとして、全覧図と名付け作成したものです。
 「長良川中流域における岐阜の文化的景観」全覧図 [昼]
 奈良文化財研究所景観研究室作成

文化的景観とは

地域における人々の生活や生業、地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活や生業の理解のため欠くことのできないものを文化的景観と呼びます。その中でも特に重要なものは、「重要文化的景観」として国に選定されます。
 当文化的景観の価値は、長良川堤外地の集落及び中世から近世に整備された都市構造が残存する都市部において、現代の人々が、長良川や金華山と一体となり、また、常にそれらを意識しながら、問屋業、伝統的手工業、自治活動及び祭りといった生業・生活、文化を継承していることです。その価値を有し、特に長良川と金華山という豊かな自然に囲まれ、長良川を物流の主軸や鵜飼の舞台として、また金華山を政治の拠点、憩いの場として利用してきた人々が住む町は、2014(平成26)年に「重要文化的景観」として国に選定されました。



「長良川中流域における岐阜の文化的景観」全覧図(夜) 奈良文化財研究所景観研究室作成



四季の写真



暮らしを支える長良川

鮎漁解禁 鵜飼 5/11~10/15

● 鮎 鮎飼開き ● 鮎雑炊 ● 魚田 ● 鵜飼終い

● 鮎鮎 ● ウルカ (鮎の内臓を塩辛に加工したもの) ● 正月飾り

鵜飼
鵜と鵜匠、船頭が舟に乗り、鵜匠が鵜を手綱で操りながら鮎漁をします。

鵜飼観覧船の造船工程
1艘の建造に約半年かかり、近年は1年に2艘ずつ新造。
シキ板(=船底の板)を組む&反りをつける → ハラ板(=側面の板)をつける → 屋形船としての装備を施す&仕上げ → 完成!

● 献上鮎 5/11 ● 鮎雑炊 ● 船上料理 ● 鮎の塩焼き ● うどん 5/11 (鵜飼開きの日、終了後にうどんを食べる習慣がありました。) ● 旧節供の祝い ● カワオリ 5/11 後最初の満月 ● 長良川まつり 鮎供養 7/16 ● 休漁・長良若宮八幡宮祭礼 旧暦 8/15 ● 鵜供養 鵜飼じまい後の最初の日曜日

鵜飼観覧船の造船技術・操船技術が岐阜市の文化財に指定されています。

鵜飼のオフシーズンの仕事
● 篝火に使う「松割木」の準備
● 腰蓑などの鵜飼で使用する道具の製作
● シントリ(新入りの鵜)受け入れ

他の漁・まつり・食・生物

四ツ手網漁(ハエ:オイカフ) ● いかだばえ (ハエの佃煮) ● 冬の鳥 ● 春の植物

すば網漁(サツキマス) ● サツキマス 遡上 ● 長良川の漁について ● モクスガニ ● 夏の鳥 ● 夏の植物 ● 秋の鳥

● 手力雄神社 手力の火祭・夏 8月2日曜日 ● 長良川の花火大会 ● 最終土曜日 ● 第1土曜日 ● 精霊送りの船 旧暦 7/1 ● 8月下旬

● 鵜飼終い ● 鵜飼供養 ● 鵜飼じまい後の最初の日曜日 ● 池ノ上みそぎ祭 第2土曜日 ● こよみのよぶね 冬至の日

● 瀬張り網漁(落ち鮎) ● ガリ(落ち鮎) ● サツキマス産卵 ● 池ノ上みそぎ祭 第2土曜日 ● こよみのよぶね 冬至の日

● 手力雄神社 手力の火祭・夏 8月2日曜日 ● 長良川の花火大会 ● 最終土曜日 ● 第1土曜日 ● 精霊送りの船 旧暦 7/1 ● 8月下旬

● 鵜飼終い ● 鵜飼供養 ● 鵜飼じまい後の最初の日曜日 ● 池ノ上みそぎ祭 第2土曜日 ● こよみのよぶね 冬至の日

地域行事

川遊び
高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン ● 4月下旬 ● 岐阜護国神社河童祭り 7月上旬~中旬 ● 長良川まつり 7/16 ● 正法寺(岐阜大仏) 大仏フェスティバル 7月下旬の土日 ● 夏祭り ● 正法寺 まちなかセタコンサート 7/7 ● ぎふ信長まつり 10月第1土曜日と日曜日 ● 岐阜公園 菊人形・菊花展(10月下旬~11月下旬) ● 地藏盆 8/23,24 ● 山の子 ● えびす講 ● 鳥の子 ● 格子の洗い ● 商売仲間での祝宴(鏡島) ● 秋葉様に「白ごわい(黒豆ご飯)に黒豆3つ付けたおむすび」をもらいにいきます。 ● 門松作り ● まちなかお月見アート 旧暦 9月十三夜

● 手筒煙奉納祭 2/3 ● 山の子 ● 山の神まつりのこと。行事の主体は子供であり、家々を廻り玄米を集めます。 ● 各まちづくり会 主催の行事(一部) ● 手作り門松の配置 ● 井の口寄席 ● 「まちの文化的建造物」顕彰 ● 大仏様への年賀状展示 ● 夜桜カフェ

歴史を表す/伝統を受け継ぐ

習俗
正月 ● 節分 ● 桃の節句 ● 端午の節句 ● 初七夕 旧暦 7/7 ● 芋名月 ● 豆名月

食
● 赤もち(正月) ● アンタコモチ ● 草餅・よもぎ餅のこと(立春に食べられていた) ● 鮎 ● 長良川の伏流水を使って作られ、生麩や角麩や焼き鮎、鮎頭などがあります。 ● みょうがぼち ● 小麦粉の生地ですら豆等の餡で包み、ミョウガの葉で巻いて蒸したもの ● 長良ぶどう狩り ● 守口漬 ● 長良川流域の砂地で生産される守口だいこんを酒粕などで漬けたもの

仕事(伝統工芸)

各伝統工芸の作業工程(一部)

岐阜うちわ
冬までに ● 洗う ● 紙張り ● 乾燥 ● 型打ち抜き ● 金型を使ってうちわの形に打ち抜く。 ● 緑取り・山張り ● ドウサ引き ● ニス塗り ● 4,5月 ● 下地塗り ● 仕上げ ● 岐阜うちわ…漆 ● 洗うちわ…柿渋 ● 洗うちわ ● 岐阜和傘 ● 11月頃 ● 真竹の伐採 ● エノキの確保 ● 骨削り ● ろくろ作り ● 骨染め ● 繰り込み ● ためかけ ● つなぎ ● 美濃和紙 ● 真冬 ● 寒漉 ● 張り ● 仕揚げ ● 油を引き、天日干しする。その後、漆を塗って仕上げる。

岐阜提灯
● 絵刷り込み ● 型紙を使い、和紙に絵を刷り込む。 ● 提灯の型組み ● 「巻紙」 ● 紙の張り付け ● 継ぎ目切り ● 提灯の型抜き ● 絵付け ● 手描きで絵を付ける。 ● 仕上げ

のぼり鯉
● 強度をつける ● 手漉し和紙の全体を手で揉み、丈夫にする。 ● 形を切る ● 絵付け ● 張り付け ● 仕上げ ● 和紙で作られた鯉のぼり。美濃の手漉し和紙を用い、手作業で絵付けをしています。

岐阜市の伝統工芸について
自然に恵まれ、長良川を通じた交易が盛んであったこの地では、薄くて丈夫な美濃和紙と良質な竹を用いた工芸が江戸時代から行われてきました。製造工程において細かく分業され、工芸品の生産を行っていました。

四季を感じる里と山

仕事(農作業)

● ぶどう ● ビニールかけ ● 薬の添付 ● つぶぬき ● 収穫 ● 祝いだいこん 収穫 ● いちご 収穫(路地栽培) ● えだまめ 種まき・収穫 ● いちご 苗植え(ビニールハウス) ● 苗植え(路地栽培) ● 収穫(ビニールハウス) ● 守口だいこん 収穫 ● 鳥ごぼう 収穫 ● 守口だいこん 種まき ● 守口だいこん 種まき ● 岐阜だいこん 種まき(秋冬) ● 収穫(秋冬) ● 種まき(春) ● 岐阜だいこん 種まき(秋冬) ● 収穫(秋冬) ● 種まき(春) ● こまつな 種まき・収穫 ● こまつな 種まき・収穫 ● ほうれん草 種まき・収穫 ● ほうれん草 種まき・収穫 ● そら豆 春まき ● そら豆 収穫 ● そら豆 秋まき

自然

冬の鳥 ● ショウビタン、アオジ ● 春の鳥 ● センダイムシクイ、ホトトギス、ウグイス、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、ツツドリ、コムクドリ ● 夏の鳥 ● キビタキ、サンコウチョウ、オオルリ、ヤブサメ、サンショウクイ ● 年中 ● カワウ、アオサギ、ヒヨドリ、ハヤブサ、カルガモ、キジ、キジバト、シジュウカラ、ヤマガラ、コジュケイ、アオゲラ、コゲラ、メジロ、イカル、ムクドリ、エナガ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ダイサギ、ゴイサギ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、スズメ ● 春の植物 ● ヤマザクラ ● 夏の植物 ● ツブラジイ

写真の一部は、「岐阜市 digital archive」、「岐阜 故郷巡礼」のものを使用